

第3回中丹管内二級河川流域治水協議会の開催結果

■開催日時：令和3年11月10日（水） 13：30～14：30

■開催方法：Web 会議<zoom>

■参加者：8名（別表参照）

結 果

■伊佐津川及び高野川の流域治水プロジェクトを策定した。

■管内の他の二級河川についても流域治水プロジェクト策定に向けた検討を開始することとなった。

主な発言内容

【開会挨拶（京都府建設交通部長）】

- ・昨今の気候変動により降雨量が増加しており、従来の河川管理者による治水だけでは対応が難しいケースも出てきた。一方、河川管理者以外にも既存の治水の取組があったり、また、治水に効果のある取組を新たに立案したりしているものもある。
- ・各機関、各主体の取組を一つの資料にまとめて共有し、優先順位や役割分担を定める中で、早期の治水安全度向上につなげることに価値がある。
- ・本協議会を、30年後に目指すべき治水安全度へたどり着くための役割分担を話し合うための端緒とするため、忌憚なく御議論いただきたい。

【意見交換】

〈舞鶴市〉

- ・自然災害が激甚化・頻発化している。当地域では今年は大きな被害はなかったが、8月豪雨による対応を振り返ると、いつ災害が発生してもおかしくない状況だと思っている。
- ・減災対策はハード・ソフト一体で効果を発揮するものであるが、特にソフト対策の重要性が一層増していると感じる。舞鶴市では舞鶴市総合モニタリングシステムによる市全域の水位、雨量の観測、情報発信、避難指示の発令を支援するAIモデルの開発を、内閣府のSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）実証実験モデル自治体として企業、教育機関と連携して進めている。また、住民に対して避難スイッチを促すため、水害リスクの認識と備えについて説明することも重要である。
- ・ハード対策については、高野川の事業間連携として、排水ポンプ場の整備を進めている。概ね5年間で完成を目指しているが、市街地施工、府河川工事の工程、施工スペースの調整など、困難な条件があるため、早期完成に向け、関係機関においては引き続き協力願いたい。
- ・浸水被害を減少させる対策として、対象エリア内の住宅の新築・改築に対し、宅地嵩上げの助成を行っている。将来建て替えが進めば、街全体の防災力が上がることを期待している。
- ・流域治水プロジェクトの早期完成を目指し、取組を加速していかなければならないと思う。関係者の皆様においては引き続き支援をお願いしたい。

〈綾部市〉

- ・流域治水の考え方は、これまでの河川管理者による治水対策に加え、流域の関係者を含めた多面的・効果的な治水対策だと理解している。
- ・伊佐津川の上流部 7km²が本市に該当し、約 330 世帯が暮らす。伊佐津川流域に特化した大きな取組はないが、流域治水プロジェクトの策定後、関係機関の連携により治水対策がこれまで以上に推進されることを期待している。
- ・京都府においては引き続き河川管理者としての対策や技術面・財政面での支援をお願いしたい。

〈京都府中丹広域振興局 地域連携・振興部〉

- ・当部では、避難行動に繋がるようなタイムラインの作成に力を入れており、舞鶴市、綾部市とともに地元に入り自治会単位での作成に取り組んでいる。伊佐津川、高野川流域も含めて、タイムラインを作成していかねばならない地域、自治会があるので、今後とも流域自治体とともに取組を進め、速やかな避難行動に繋げられるよう進めたいのでご協力をお願いしたい。

〈京都府中丹広域振興局 農林商工部〉

- ・農林関係ではため池、治山ダムなどのハード整備に加え、ため池ハザードマップの作成や中丹独自の取組である「ため池点検野帳」による点検（参考資料参照）、治山ダムの見学会などのソフト対策を実施しながら、地域や関係機関と連携し流域治水に取り組んでいきたい。

※「ため池点検野帳」による点検

ため池の管理者に、チェックリストが記載された野帳を配布し、現地で年2回以上チェックする仕組み。整備するだけでなく管理についても地元で対応していただくために作成。

〈京都府中丹広域振興局 建設部〉

- ・当部は、河川のハード整備を中心に担っており、ロードマップでも短期および中長期の目標も明示したところ。ハード整備には多額の事業費を要するため、しっかり事業が進められるよう、予算の獲得に向け努力していきたい。

〈京都府港湾局〉

- ・二十数年前に流域での治水という考えが広まりだし、こういう形で計画がまとまったのは感慨深い。
- ・流域の最下流端にあたる港湾の役割は、洪水を速やかに海へ放出することと考えており、そのためには、河口部での浚渫が課題と認識している。河川管理者とも調整し、役割分担を図りながら、取り組んでいきたい。
- ・上流域、中流域での河川のみならず、山地の土砂流出抑制についても、各管理者において一層の対策をよろしくをお願いしたい。

〈京都府水産事務所〉

- ・当所が所管し伊佐津川河口に位置する舞鶴漁港は京都府各地から漁獲物の一大集積地であるが、平成30年7月豪雨の際に市場機能が停止した経験から、河口部において浚渫を継続している。
- ・今後も、本協議会の中で、流域治水の取組に参加し、上流部の整備を担う各機関と連携していきたい。

【質疑応答】

〈京都府中丹広域振興局 地域連携・振興部〉

- ・最近の話題としてグリーンインフラが紹介されたが、流域治水プロジェクトにも反映されているのか。あるいは、今後反映するものなのか。

〈事務局〉

- ・今回策定した流域治水プロジェクトでは該当する取組は無かったが、今後のフォローアップの中で反映していくことも可能である。

【閉会】

〈事務局〉

- ・各主体が連携して実施する流域治水も、ひと昔前なら進めるのは困難だっただろうが、今は省庁連携の下で大きく進みつつあると感じる。
- ・「防災・減災、国土強靱化5カ年加速化対策」を活用していく意味でも、流域治水プロジェクトを他の水系もひとつおき策定していきたい。グリーンインフラなど様々な施策の反映の可能性があり、策定済みの流域治水プロジェクトも、バージョンアップの余地があると思われる。
- ・本日は熱心な議論ありがとうございました。今後ともよろしく願います。

(別表)

機関名	職名	氏名	備考
舞鶴市	市長	多々見 良三	(代理)副市長：堤 茂
綾部市	市長	山崎 善也	(代理)副市長：山崎 清吾
京都府中丹広域振興局 地域連携・振興部	部長	和久 輝幸	
京都府中丹広域振興局 農林商工部	部長	岡田 宏一	
京都府中丹広域振興局 建設部	部長	西村 祥一	
京都府港湾局	局長	苔口 聖史	(代理)港湾企画課長：秋田 伸治
京都府水産事務所	所長	井谷 匡志	(代理)漁政課長：戸嶋 孝
京都府建設交通部	部長	濱田 禎	協議会会長